

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公表番号】特表2013-522742(P2013-522742A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2012-557548(P2012-557548)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 2 N 1/00 (2006.01)

H 0 2 N 2/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/16 3 3 0 D

G 0 6 F 3/041 3 3 0 P

G 0 6 F 3/041 3 8 0 D

H 0 2 N 1/00

H 0 2 N 2/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月14日(2014.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オーディオ出力信号を生成する電子デバイスにおいて認識可能な効果を選択的に生成する方法であって、

上記方法は、

アナログ回路を用いて上記オーディオサウンド信号を条件付けて、上記オーディオサウンド信号に対応するアナログ電圧を生成すること、

上記アナログ電圧をデジタル値に変換し、或る期間にわたって上記デジタル値を記録して、記録されたデジタル値のアレイを構築すること、

少なくとも複数の上記記録されたデジタル値を分析して、少なくとも 1 つの制御値を発生すること、

上記少なくとも 1 つの制御値を用いてトリガモードを選択することを含み、上記トリガモードは、第 1 および第 2 のモードを含む複数のモードから選択され、

上記トリガモードに基づいてトリガ信号を発生することを含み、上記トリガ信号は上記複数のモードから選択された上記トリガモードに特有であり、

上記電子デバイスに結合され、かつ上記認識可能な効果を発生するように構成されたトランスデューサに、上記トリガ信号を提供することを含む方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、

少なくとも上記複数の上記記録されたデジタル値を分析して、少なくとも 1 つの制御値を発生することは、少なくとも上記複数の記録されたデジタル値について統計的分析を実行することを含む方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法において、

上記トリガ信号を提供することは、少なくとも 1 つのデジタル値をアナログ電圧に変換することを含む方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法において、

上記複数のモードのうち少なくとも 1 つは、上記トリガ信号が少なくとも 1 つの蓄えられた波形から選択された第 1 成分と少なくとも 1 つのデジタル値に基づく第 2 成分とに基づいて選択される混合されたトリガモードを含む方法。

【請求項 5】

電子デバイスに結合されているトランスデューサにおいて出力を選択的に変化させる方法であって、

上記電子デバイスはオーディオ出力信号を生成し、

上記方法は、

上記オーディオ出力サウンド信号を条件付けて、上記オーディオサウンド信号に対応するアナログ電圧を生成すること、

上記アナログ電圧をデジタル値に変換すること、

記録されたデジタル値のアレイから少なくとも複数の記録されたデジタル値を解析して、少なくとも 1 つの制御値を発生すること、

上記少なくとも 1 つの制御値を用いてトリガモードを選択することを含み、上記トリガモードは、第 1 および第 2 のモードを含む複数のモードから選択され、

上記トリガモードに基づいてトリガ信号を発生することを含み、上記トリガ信号は上記複数のモードから選択された上記トリガモードに特有であり、

上記電子デバイスに結合され、かつ上記認識可能な効果を発生するように構成されたトランスデューサに、上記トリガ信号を提供することを含み、

上記複数のモードのうち少なくとも 1 つは、上記トリガ信号が少なくとも 1 つの蓄えられた波形から選択される純粋なトリガモードを含む方法。